

論文(4) 胆石症

診断・治療を通じて患者から学ぶ

地域病院では、人的資源の面で内科、外科の区別なく力を合わせて**急性腹症**の治療にある必要がありますが、患者さんを通じて臨床能力を各段高めるチャンスです。自分の診断が正しいのか？外科治療でその答えが出ます。

腹部**超音波検査**は、急性腹症の診断で極めて強力な武器ですが、**検査を行う人に依存する検査**ですので普段のトレーニングが重要です。

急性腹症診療 ガイドライン 2015

編集 急性腹症診療ガイドライン出版委員会

日本腹部救急医学会／日本医学放射線学会／日本プライマリ・ケア連合学会
日本産科婦人科学会／日本血管外科学会

超音波検査は急性腹症のどのような場合に施行するか？

急性腹症に対してスクリーニング検査として施行されることが勧められる。特に腹部大動脈瘤破裂，急性胆嚢炎が疑われる場合や放射線被ばくを避けることが望ましい妊婦，若年女性や小児において強く勧められる(レベル2，推奨度A)。ただし，術者の技量に大きく依存するため，日頃から習熟しておく必要がある(レベル2，推奨度A)。

投稿

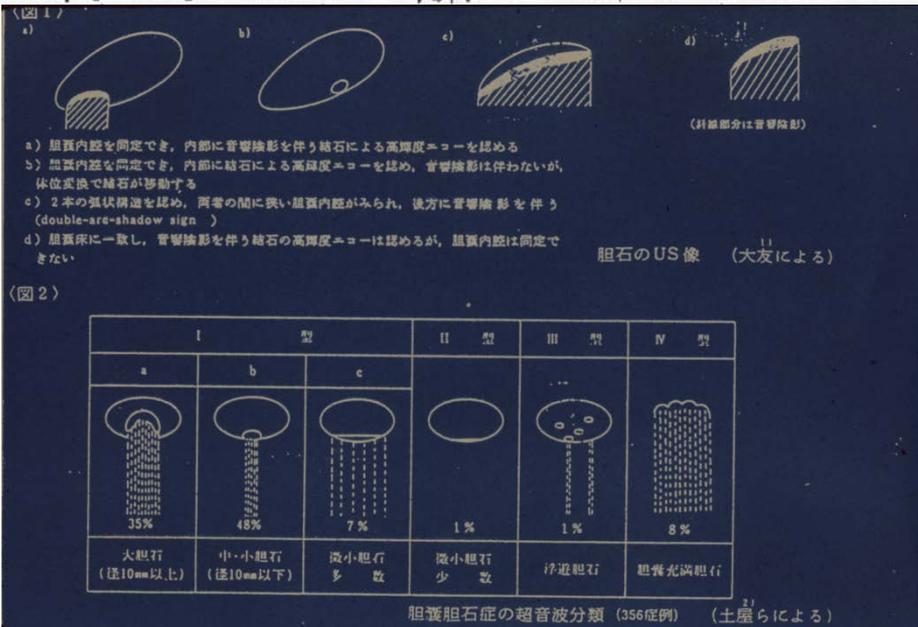
肝・胆・膵シリーズ
 —その1. 胆のう胆石症の超音波診断—
 (摘出結石の水槽内実験による検討)

小林 英司 * 1
 加藤 秀徳 * 4

原 滋郎 * 2

高橋 正 * 3

{ * 1 新潟県立小出病院 外科 新潟・5期 }
 { * 2 " " " " }
 { * 3 * 4 " " 内科 }

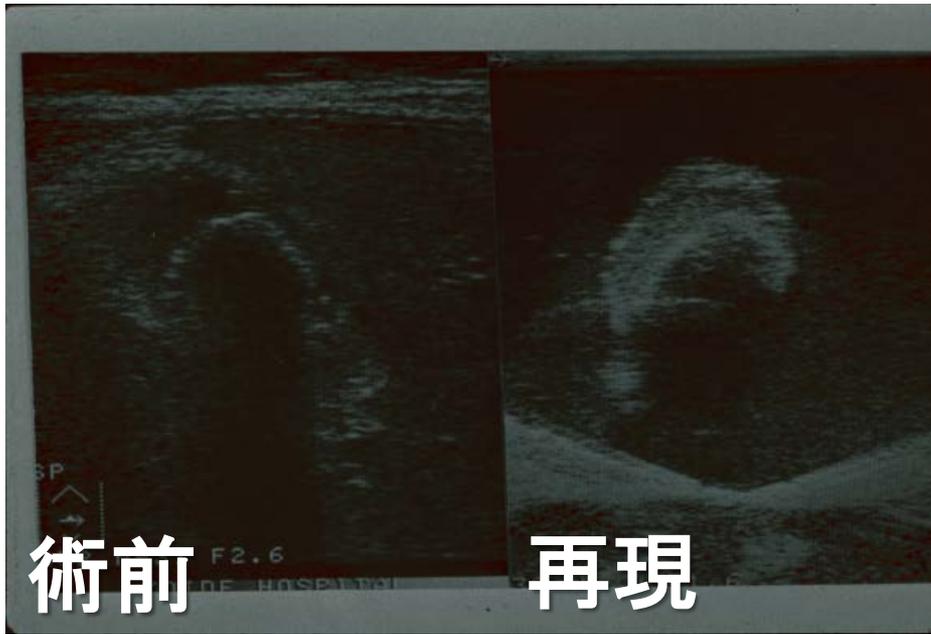


私のトレーニング法



術前見えたものを再現してみる

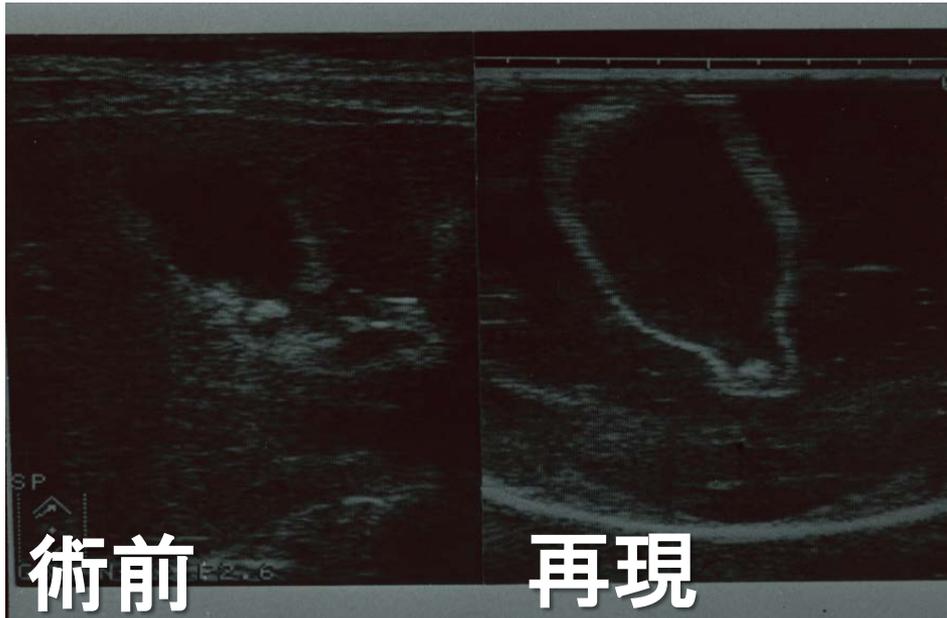
SS



摘出結石



TK



摘出結石



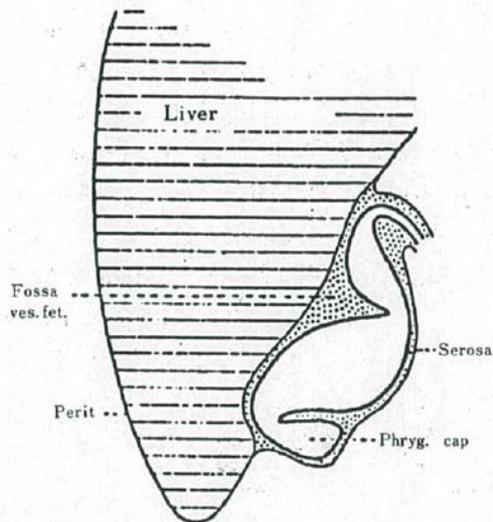
肝・胆・膵シリーズ

— その2 What is Phrygian cap ? —

小林 英司 *1 原 滋郎 *2 佐藤 昭男 *1 小熊 敏一 *5
 清塚 功 *3 高橋 謙介 *6 羽鳥 栄 *7

(*1 新潟県立小出外科 新潟, 5期 ※2 新潟県立小出病院外科)
 *3 ~ *7 新潟県立小出病院放射線科技師)

<図2>



<図3>



Phrygian cap

Phrygian cap
 Phrygian capをつけた2
 名の戦士の描かれている
 Phrygianの6世紀の彫刻
 写真 [Encyclopedia Britannica
 17:1008, 1973, by courtesy
 of the Hitit Müzesi Modüllüğü
 Ankara: Arts Council of Great
 Britain photograph]

症 例

胆嚢捻転の5例

新潟県立新発田病院外科

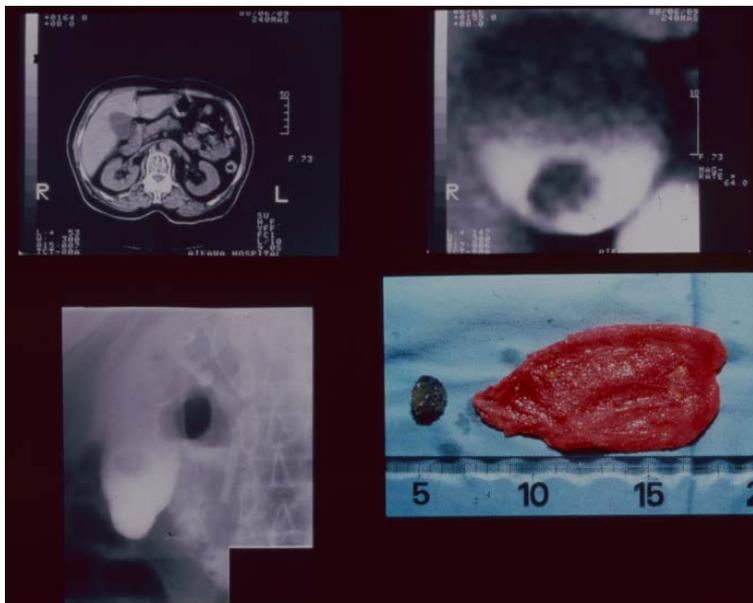
水 戸 正 人 田 中 亮 小 柳 英 人
畠 山 悟 田 中 典 生

胆嚢捻転の臨床的特徴を明らかにするため、2006年1月より2015年5月までに当院で手術を施行した胆嚢捻転5例を後ろ向きに検討した。男性1例・女性4例で、年齢中央値は85歳（83～92歳）だった。2例はCTで術前診断が可能で、3例は経皮的胆嚢ドレナージが行われたのちに血性胆汁排液を認めたため手術の方針となった。経皮経肝的胆嚢ドレナージは遊離腹腔を介して挿入された2例を含んでいたが、術中所見で腹腔内への胆汁漏出は認めなかった。CT所見では、全例で結石嵌頓を伴わない胆嚢腫大と単純CTにおける胆嚢粘膜の高濃度化を認めた。胆嚢管の偏位を3例で認め、胆嚢管の捻じれによる頸部の高吸収腫瘤像は1例で認めた。4例に開腹胆摘を、1例に腹腔鏡下胆嚢摘出術が施行された。胆嚢捻転の診断にはCT画像診断が有用である。また、胆嚢ドレナージによる胆汁性状も有力な所見であり、診断の一助となる。

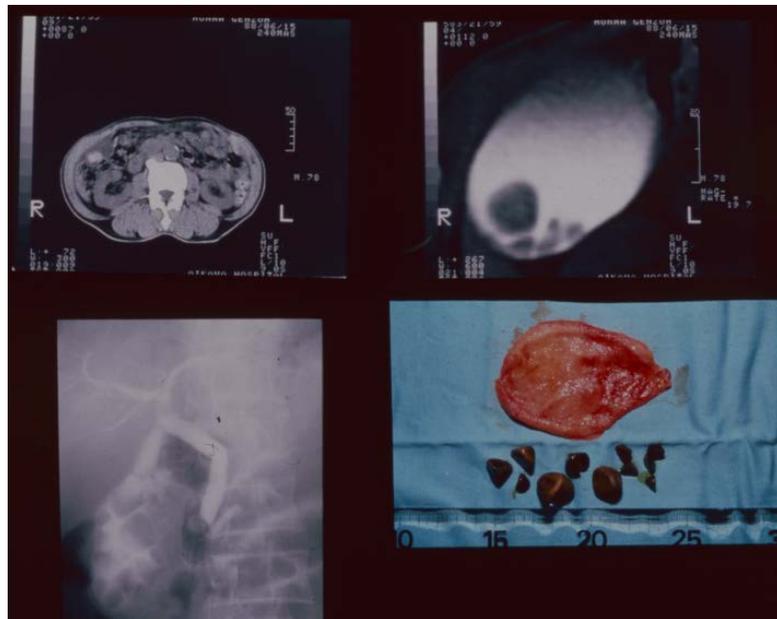
索引用語：胆嚢捻転

患者さんの検査データは宝物: 35年経っても色あせない教科書

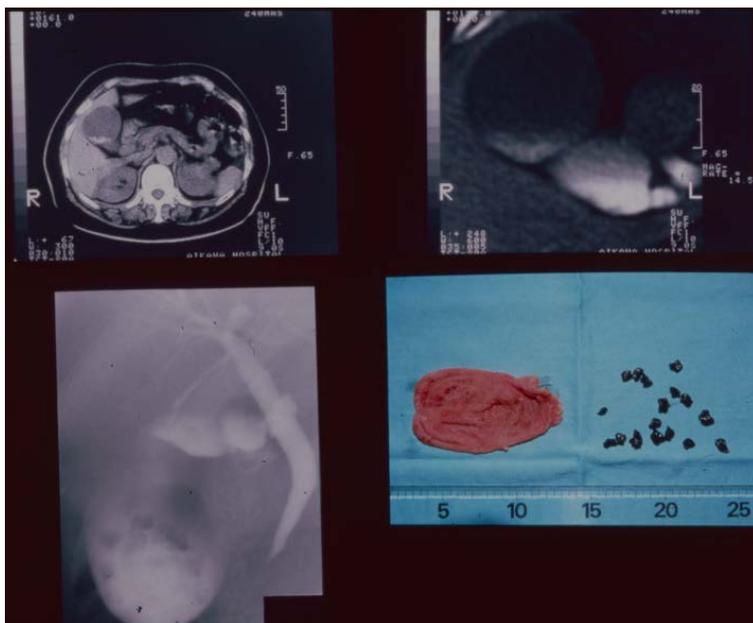
KO



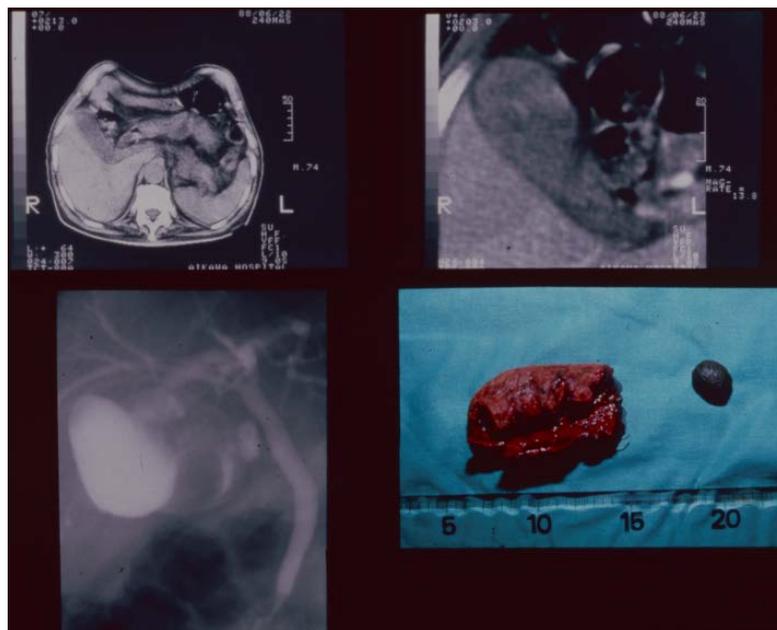
GH



TO



TN



1983-1991年度 地域医療従事における論文

トップページ
プロフィール
論文等の閲覧
アップデート
ラボの概要
リンク
共同研究

小林英司研究室

〒160-8582
東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部
総合医科学研究棟7S4
TEL 03-5315-4090
FAX 03-5315-4089

- 小林英司:中心静脈カテーテル挿入部の処理法-I. 新しいTransplant Dressingの臨床的検討. 診断と新薬 28(3): 541-546, 1991.
- 小林英司, 藤巻尚, 瀬賀弘行, 後藤俊夫, 阿部昌洋, 石川巖, 渡部信:当院におけるハチ刺症の検討. 新潟県立病院 医学会誌 39:1-4, 1991
- 小林英司, 藤巻尚, 瀬賀弘行, 後藤俊夫, 阿部昌洋, 太田一寿, 親松学, 石川巖:重症腹膜炎を生じた閉鎖孔ヘルニアの1治療例. 手術 45(8): 1199-1201, 1991
- 小林英司, 佐藤信昭, 島影尚弘, 谷川俊貴, 江村巖, 本間慶一:乳房の発赤を呈した乳腺悪性リンパ腫の1例. 臨床外科 43(3): 365-368, 1991.
- 小林英司: 腹部X線上石灰化像を認めた虫垂炎類似疾患-虫垂結石症との比較. 消化器科 13(6):505-514,1990
- 小林英司, 後藤俊夫, 吉田英春:胃がん症の検討-佐渡郡相川町立相川病院に於ける報告. 月刊地域医学 4(6): 5, 39-544, 1990.
- 小林英司, 原滋郎:X線的に逆追跡可能であった虫垂結石の1例.外科診療 32(12): 1787-1790, 1990.
- 小林英司, 原滋郎, 前原晃:日常汎用する薬剤による急性食道潰瘍-2症例と文献的考察. 外科診療 32(6): 871-875, 1990.
- 小林英司, 林三樹夫, 渡部信:虫垂結石を自然排石したと思われる急性虫垂炎の一例. 消化器科 13(5): 593-596, 1990.
- 小林英司, 本間正一郎, 田宮洋一, 中澤一臣:炭酸カルシウム結石とともに胆嚢より総胆管へ流出したと思われる石灰乳胆汁の1例. 胆と膵 11(臨時増刊): 505-509, 1990.
- 小林英司, 本間正一郎, 和田研, 前原晃:石灰乳胆汁の2症例-X線像と手術所見の対比. 新潟医学会雑誌 104(4): 267-271, 1990.
- 小林英司, 田宮洋一, 本間正一郎, 高橋辰弥:末期癌患者の在宅静脈栄養法-逆流防止弁付き注入アダプターを使用した皮下埋没式間欠輸液療法の検討. 新潟医学会雑誌 104(10): 877-882, 1990.
- 小林英司, 渡辺和夫:離島に於ける外科手術症例の検討-佐渡郡町立相川病院外科に於ける報告.地域医学 4(5): 18-22,1990.
- Kitazawa M, Ohnishi Y, Nonomura N, and Kobayashi E.: Malignant Lymphoepithelial Lesion. Acta Pathol Jpn. 1987; 37(3):515.
- 小林英司, 本間正一郎, 田宮洋一:胃切後患者に対するリットゲイト(QP-K2R)の使用経験. JJPEN 11(11): 1331, 1989.
- 小林英司, 本間正一郎, 栢森良二, 中屋愛作, 須藤祐悦, 小沢吉郎, 杉原千代治:胃中の消化管穿孔-十二指腸潰瘍穿孔および外傷性小腸破裂. 臨床X線医学 6(別冊): 9, 1989.
- 中俣正子, 高村喜美子, 青柳悦子, 小林英司:末期癌患者の在宅点滴療法-Cyclic Home IVH事例の検討. 臨床看護 15: 284, 1989.
- 小野塚真知子, 日浦弘子, 小林英司:患者本位の給食をめざして-病棟回診に加わり患者の要求に対応する. 臨床栄養 74(4): 393, 1989.
- 岡村須美代, 中俣正子, 江口三三三, 広田節子, 戸田光子, 桜井恵子, 金沢克枝, 江端さとみ, 渡辺八重子, 佐藤菊江, 青柳悦子, 小林英司: Valve Infusion Port 使用 Cyclic IVH-病棟管理の実際. 臨床看護 14: 425,1988.
- 小林英司, 原滋郎, 高橋正, 吉田吉男, 小林浩二:植物の莖を核とした総胆管結石-1手術例と文献的考察. 胆と膵 10(2): 103-108, 1988.
- 小林英司, 本間正一郎, 田宮洋一:胃腸炎合併食道潰瘍に対するaluminum hydroxidegel, magnesium hydroxide (MadoxR)の少量・頻回・長期投与例の検討. 診断と新薬 24(12): 2553, 1987
- 小畑妙子, 星刃子, 布沢節子, 渡辺洋子, 真保実穂子, 飯塚範子, 小林英司, 原滋郎. IVH管理の工夫と入浴の試み. 臨床看護 12: 859, 1986.
- 小林英司, 寺島雅範, 広野達彦, 小池輝明, 山口明, 滝沢恒世, 江口昭治:臍胸の術後出血に対する胸腔内カテーテル圧迫止血法の一工夫. 胸部外科 38(2): 122, 1985.
- 小林英司:急性虫垂炎の重症度と白血球上昇-特に術前経口抗生剤の影響について. 地域医学 5(1): 19, 1984.
- 小林英司, 川口英弘, 吉川時弘, 内藤万砂文, 吉田圭介, 山際岩雄, 椎名真:高熱を主訴とした巨大肝海綿状血管腫-1切除例と文献的考察. 日消誌 80(9): 180-184, 1983.

「小林英司ラボ」
ホームページより

地域病院で
経験した症例の報告

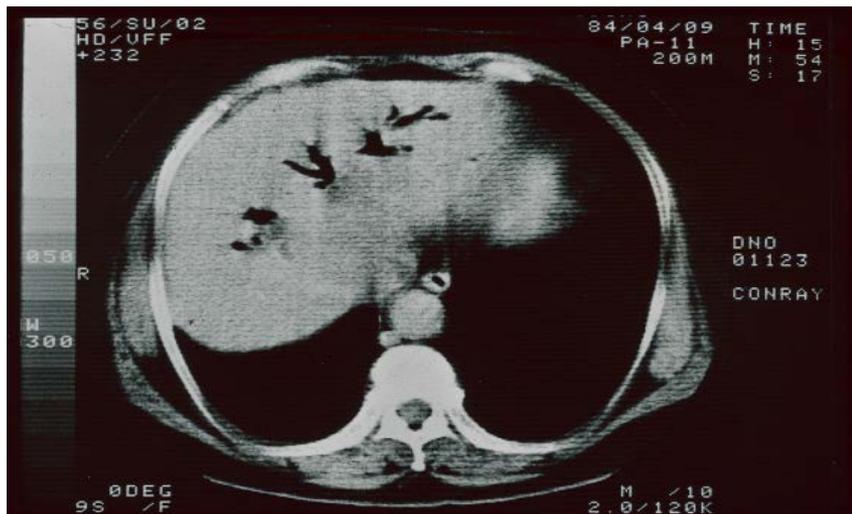
植物の茎の断片を核とした総胆管結石*

— 1 手術例と文献的考察 —

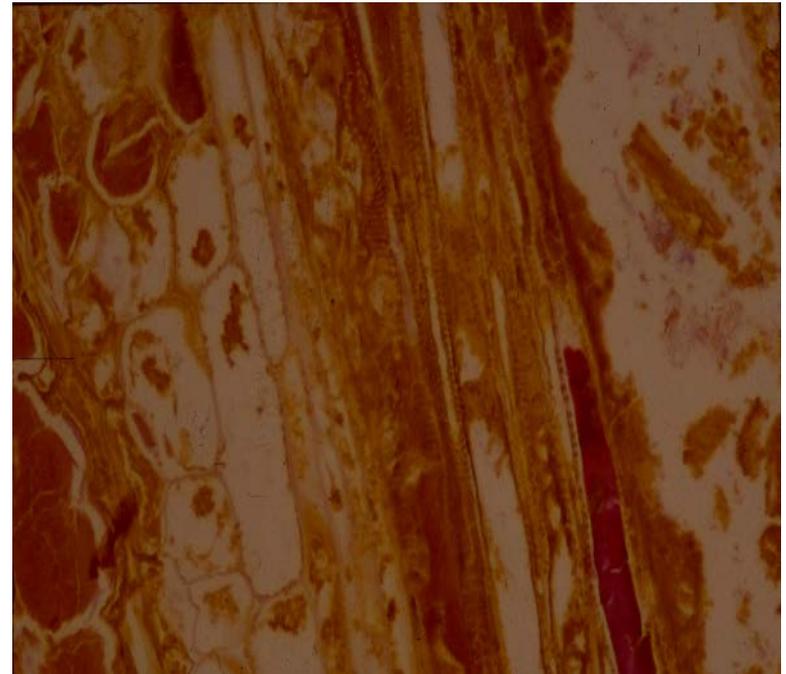
小林英司¹⁾・原 滋郎²⁾・高橋 正
 吉田吉男²⁾・小林浩二

Laboratory Data of Blood.

| | Preope. | postope. |
|----------------------------|---------|----------|
| WBC (/cumm) | 6,900 | 5,100 |
| RBC ($\times 10^4$ /cumm) | 462 | 388 |
| Hgb (g/dl) | 13.8 | 11.4 |
| Hct (%) | 42 | 36 |
| PLT ($\times 10^4$ /cumm) | 15.9 | 15.7 |
| GOT (miu/ml) | 115 | 31 |
| GPT (") | 143 | 15 |
| γ -GTP (") | 284 | 19 |
| ALP (K·Ku) | 10.9 | 5.9 |
| T. Bil (mg/dl) | 4.0 | 0.8 |
| D. Bil (") | 3.0 | |
| Z·T·T (U) | 5.1 | 7.7 |
| T. Pro (g/dl) | 6.8 | 5.9 |
| CRP | 3+ | — |



ワラビか??



生物の先生に教えを乞う

石灰乳胆汁の2症例

— X線像と手術所見の対比 —

新潟大学医学部医動物学教室 (主任: 藤原道夫教授)

小林 英 司

本間 医院

本間 正一郎

新潟大学医学部第一内科教室

和田 研

湯沢町国民健康保険診療所内科

前原 晃

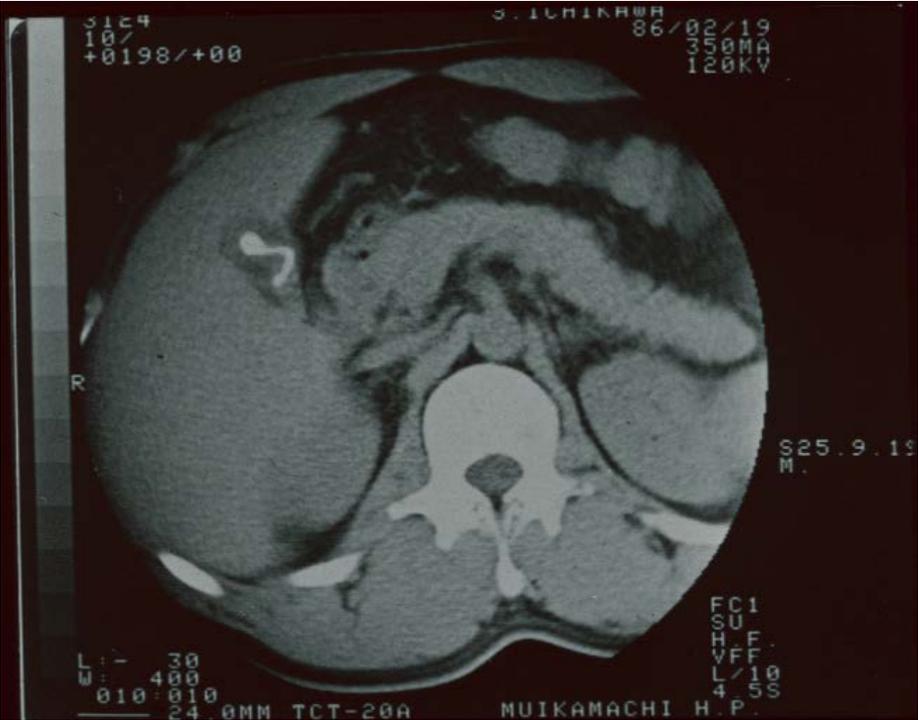
| | 症例1 (35歳 男) | 症例2 (47歳 女) |
|-------|--------------------|--------------------|
| 胆のう内容 | 粘性ゴム状 | 乳状液体 |
| 成分 | 炭酸カルシウム (98%以上) | 炭酸カルシウム (98%以上) |
| 胆のう病理 | 慢性胆のう炎 (潰瘍形成あり) | 慢性胆のう炎 |
| 結石分析 | コレステロール (98%以上) | コレステロール (混入物あり) |

35歳 男性



どこまで読める??

35歳 男性



47歳 女性



どこまで読める??

47歳 女性

